

## 薬が飲みにくいと感じたことはありませんか？

薬剤部 薬剤師

やまもと れおな  
山本 麗央奈

<sup>えんげしょうがい</sup>  
嚥下障害（口の中のものをうまく飲み込めなくなる状態）を引き起こす疾患には様々なものがありますが、特に脳梗塞や脳出血などの脳血管障害神経や筋疾患などでは高い確率で起こります。嚥下機能が低下した場合などに、薬を自己判断で割ったり、砕いたり、あるいはカプセル剤を開封したりしたことはないでしょうか。



最近では、<sup>こうくうないほうかいじょう</sup>  
口腔内崩壊錠（OD錠：Orally Disintegrating Tablets）も増えてきています。これは口の中に入れると唾液程度の水分ですぐに崩壊するので、水が無くても飲むことができ、飲み込むことが難しくなった方でも無理なく服用することができます。このように薬には、飲みやすくしたり、治療効果を高めたりするための様々な工夫が詰め込まれています。中には例に紹介するような薬もあり、自己判断で薬を割ったり砕いたりすると薬の効果が無くなってしまったり副作用が出やすくなったりすることもあるので注意が必要です。飲み込む力が弱くなった場合などは医師や薬剤師に相談し飲みやすい薬の形を一緒に探していきませんか。



<粉碎やカプセルの開封ができない薬の例>

<sup>じょほうじょう</sup> <sup>じょほうせい</sup>  
○徐放錠・徐放性カプセル — 薬の有効成分がゆっくり溶け出すように工夫された製剤。

薬の効果が長く持続することによって、薬を飲む回数を減らしたり、副作用を軽くしたりできる。

<sup>ちょうようじょう</sup> <sup>ちょうようせい</sup>  
○腸溶錠・腸溶性カプセル — 胃で溶けずに腸で溶けるよう工夫された製剤。

胃酸に弱い薬や胃に大きなダメージを与える薬などがある。

<sup>とういじょう</sup>  
○糖衣錠・フィルムコーティング錠 — 錠剤の周りを糖やフィルムで覆うことにより、薬の成分本来の苦みや臭みを隠し、飲みやすくされている。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：12月1日～12月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「形成外科で診てもらおうかどうか迷ったら…」 形成外科部長 篠川 靖夫



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛  
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>